

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2020年8月13日
【発行者名】	マネックス・アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中村 友茂
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂一丁目12番32号 アーク森ビル26階
【事務連絡者氏名】	宇座 修
【電話番号】	03-6441-3809
【届出の対象とした募集(売出)内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	マネックス・アクティビスト・ファンド
【届出の対象とした募集(売出)内国投資信託受益証券の金額】	(1)当初申込期間 : 上限150億円 (2)継続申込期間 : 上限8,000億円
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2020年5月25日付をもって提出した有価証券届出書(以下「原届出書」といいます。)について、約款変更によるファンドの特色およびマザーファンドにおける投資態度に変更事項がありますので、本訂正届出書を提出するものです。

2【訂正の内容】

下線部_____が訂正部分を示し、原届出書の更新後の内容を記載する場合は<更新後>とします。

第二部 【ファンド情報】

第1 【ファンドの状況】

1 【ファンドの性格】

(1) 【ファンドの目的及び基本的性格】

< 訂正前 >

(略)

< ファンドの特色 >

個別企業の分析を重視したボトム・アップ手法による銘柄選択により比較的少数の銘柄に投資します。

株式の組入れ対象は、潜在的企業価値に対して株価が著しく安価に放置された企業を中心とします。

企業分析では、経営戦略、事業モデル、経営陣の質、財務状況など、財務面と非財務面(ESGを含みます。)からの視点を統合的に取り入れます。

(略)

< 訂正後 >

(略)

< ファンドの特色 >

個別企業の分析を重視したボトム・アップ手法による銘柄選択を行い、エンゲージメントを目的として比較的少数の銘柄へ投資します。

株式の組入れ対象は、潜在的企業価値に対して株価が著しく安価に放置された企業を中心とします。

企業分析では、経営戦略、事業モデル、経営陣の質、財務状況など、財務面と非財務面(ESGを含みます。)からの視点を統合的に取り入れます。

ボトムアップ手法に加えて、適宜、投資家の需要、市場の歪みなどのマーケットインサイトと組み合わせてポートフォリオを構築します。

(略)

2【投資方針】

(5)【投資制限】

< 訂正前 >

(略)

(参考)マザーファンドの概要

「マネックス・アクティビスト・マザーファンド」

(略)

(2) 投資態度

主として日本の上場株式(これに準ずるものを含みます。)に投資し、個別企業の分析を重視したボトム・アップ手法による銘柄選択により比較的少数の銘柄でポートフォリオを構築し、ベンチマークを設定せずに運用を行います。

(略)

< 訂正後 >

(略)

(参考)マザーファンドの概要

「マネックス・アクティビスト・マザーファンド」

(略)

(2) 投資態度

主として日本の上場株式(これに準ずるものを含みます。)に投資し、個別企業の分析を重視したボトム・アップ手法による銘柄選択を行い、エンゲージメントを目的として比較的少数の銘柄でポートフォリオを構築し、ベンチマークを設定せずに運用を行います。また、ボトム・アップ手法に加えて、適宜、投資家の需要、市場の歪みなどのマーケットインサイトと組み合わせてポートフォリオを構築します。

(略)